

02

基幹産業における 「バリューチェーン」の進化

エネルギー・化学品カンパニー



宮崎 勉

常務執行役員
エネルギー・化学品Co. プレジデント（2026年～）

-
- 1983年入社以来、一貫して化学品分野に携わる
 - 台湾での5年半の駐在を経験
 - 2015～2025年度まで伊藤忠ケミカルフロンティア社長を務め、直近は6期連続最高益を記録

幅広い商品群の取扱いにより基幹産業を支えるバリューチェーンを構築



原油



LNG



原油・LNGトレード



発電・蓄電所



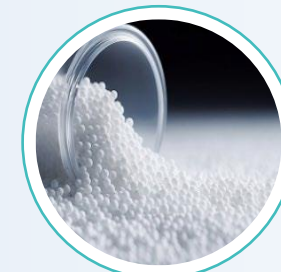
石油製品・LPガス販売



電カトレード



無機原料



合成樹脂



有機原料



ファインケミカル

エネルギー・電力ソリューション部門

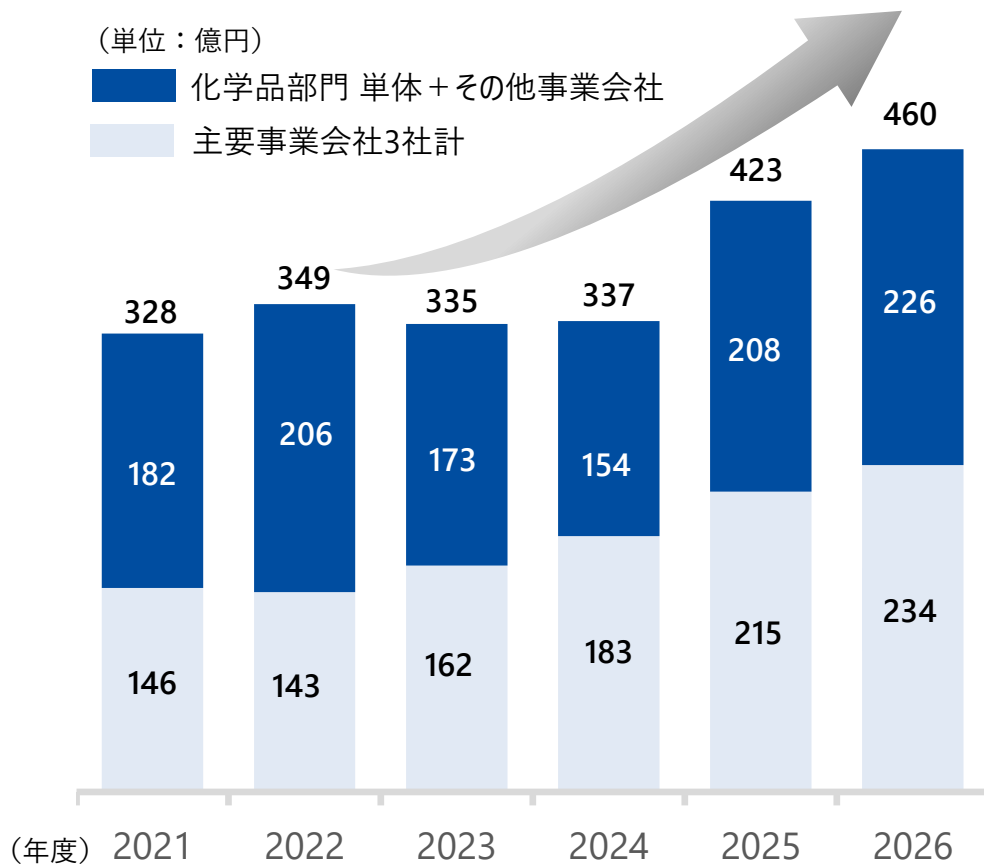
化学品部門

化学品部門： 多数の商品群を取扱い、右肩上がりの成長を実現

(単位：億円)

■ 化学品部門 単体 + その他事業会社

■ 主要事業会社3社計



化学品部門 連結純利益推移

建材



高機能フィルム



塩ビ床材

日用品・包材



日用品



パッケージ



包材

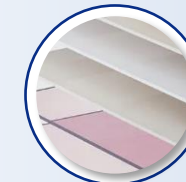
自動車・半導体



自動車部材



半導体関連部材



樹脂プレート

医薬・農薬



医薬品原料



農薬

農業・畜産



飼料添加物



肥料

繊維



化学繊維原料

化学品部門 取組事例

化学品部門 単体



- ✓ 住友化学製の飼料添加物 **メチオニン**を全量取扱い
- ✓ **世界有数の合成樹脂**取扱数量
- ✓ その他、**硫黄、アンモニア**といった**基礎原料**から**日用雑貨、用度品**まで幅広く取扱い

トレード
×
事業会社

タキロンシーアイ



- ✓ 建築住設・土木農業用資材、電子部品等、**基礎産業**に強み
- ✓ **2024年度完全子会社化実施**、多数の人員を派遣し**PMI推進中**



取込損益	2010年度	2026年度(計画)
	19億円	67億円

伊藤忠ケミカルフロンティア



- ✓ **川下視点**で高収益の医薬、**ファインケミカル**事業を拡大
- ✓ **6期連続**最高益



取込損益	2010年度	2026年度(計画)
	20億円	103億円

伊藤忠プラスチック



- ✓ **半導体関連**から**食品包材**まで川中～川下に広く事業を展開
- ✓ 2025年度**史上最高益達成**



取込損益	2010年度	2026年度(計画)
	22億円	64億円

今後の成長ドライバー：半導体関連の取組拡大



市場拡大が顕著な半導体分野で、伊藤忠の既存ビジネスと接続し、バリューチェーンの拡大に資する投資を実行することで、次なる成長の柱に

金属カンパニー



田中 正哉

上席執行役員
金属カンパニープレジデント（2026年～）

-
- 1987年入社以来、化学品関連ビジネスに従事
 - エネルギー・化学品Co. プレジデントを務め、韓国駐在も経験
 - 現地の取引先との繋がりを大切にしながらビジネスを推進
 - 企画部門等のスタッフ経験もあり、チームワーク重視で周囲からの意見にも耳を傾ける

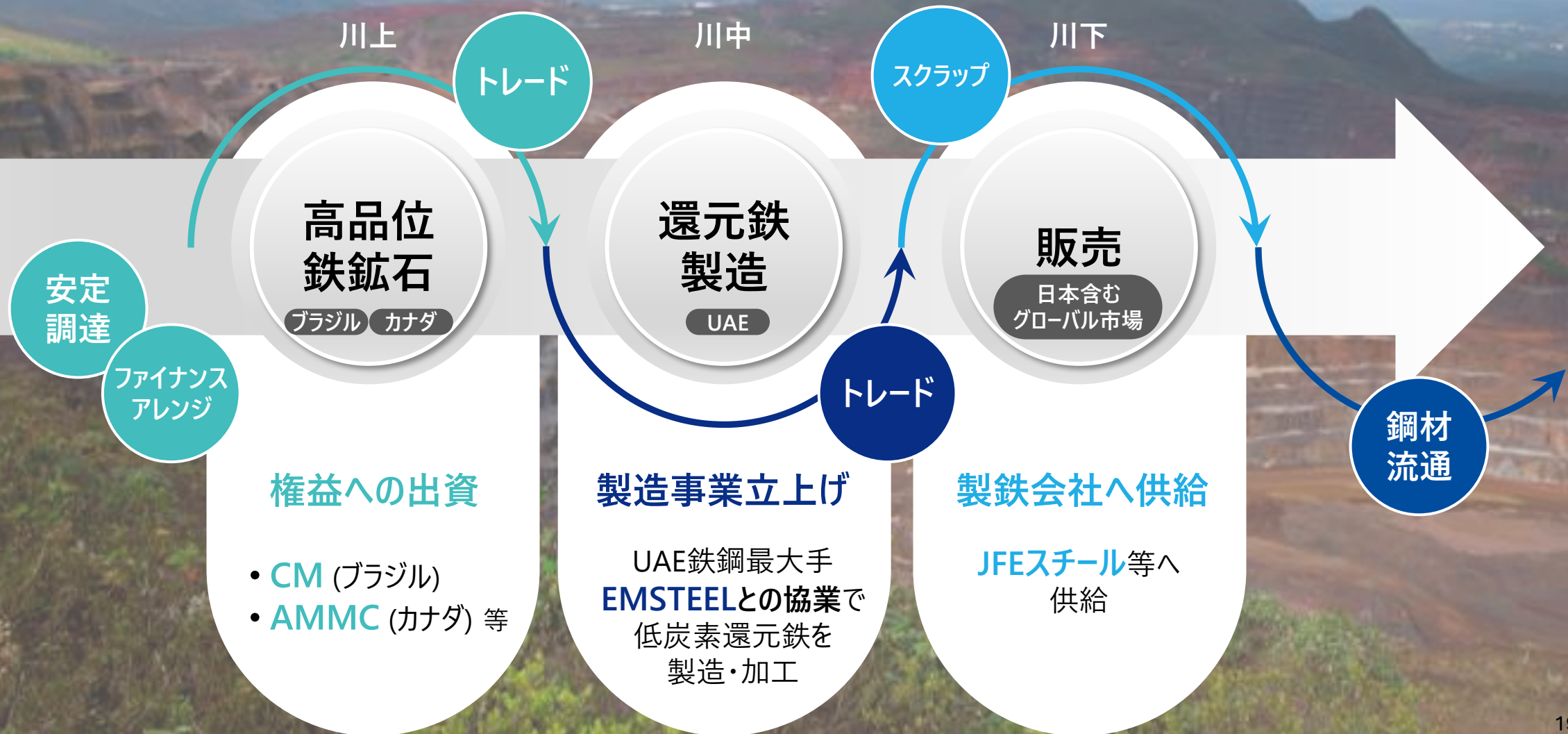
鉄鉱石・原料炭を中心とした優良資源権益を保有

資源メジャー等の優良パートナーと長期に亘り強固な関係を構築



低炭素還元鉄

業界課題を捉え、当社ならではのネットワーク・機能を活かしたバリューチェーンの構築へ



住生活カンパニー



真木 正寿

上席執行役員
住生活カンパニープレジデント（2022年～）

-
- 1987年入社以来、建設・不動産業界分野で手腕を発揮
 - 優れたリーダーシップでパートナーの心を掴み、国内外の不動産事業を拡大
 - 中国駐在時には住生活分野全体を統括
 - 豊富な実践経験を活かしつつグローバルな視点で戦略を推進

築き上げてきたバリューチェーン



建設・不動産 4つの重点領域



国内開発

垂直統合と高度化

- JR東日本伊藤忠不動産開発が発足
- 三信住建との資本業務提携（仕入強化）
- 官民連携（PPP）・データセンター開発



北米不動産

成長取込

- Wood Partnersとの資本業務提携事業投資と共同開発プロジェクトを推進
- 北米建材事業とのシナジー拡大



三信住建



JR東日本



SUN FRONTIER



WOOD PARTNERS



オリエンタル白石株式会社



まかせられる人が、いる。

NISHIMATSU



不動産アフター

循環型ビジネス

- サンフロンティア不動産との資本業務提携リノベーション（アフターマーケット）へ参画
- アセットマネジメント・プロパティマネジメント事業との連携強化



建設インフラ

基盤強靱化

- 西松建設（準大手ゼネコン）、オリエンタル白石（大手橋梁ゼネコン）との資本業務提携
- 建設アライアンスの構築・強化

4つの 重点領域

建設・不動産

北米建材事業のバリューチェーン

製造

流通

開発

外構建材



構造建材



内装建材



MASTER HALCO
Fence & Deck Supply

WOOD PARTNERS

-流通・販売網の強化-

-不動産開発へ事業展開-

機械カンパニー



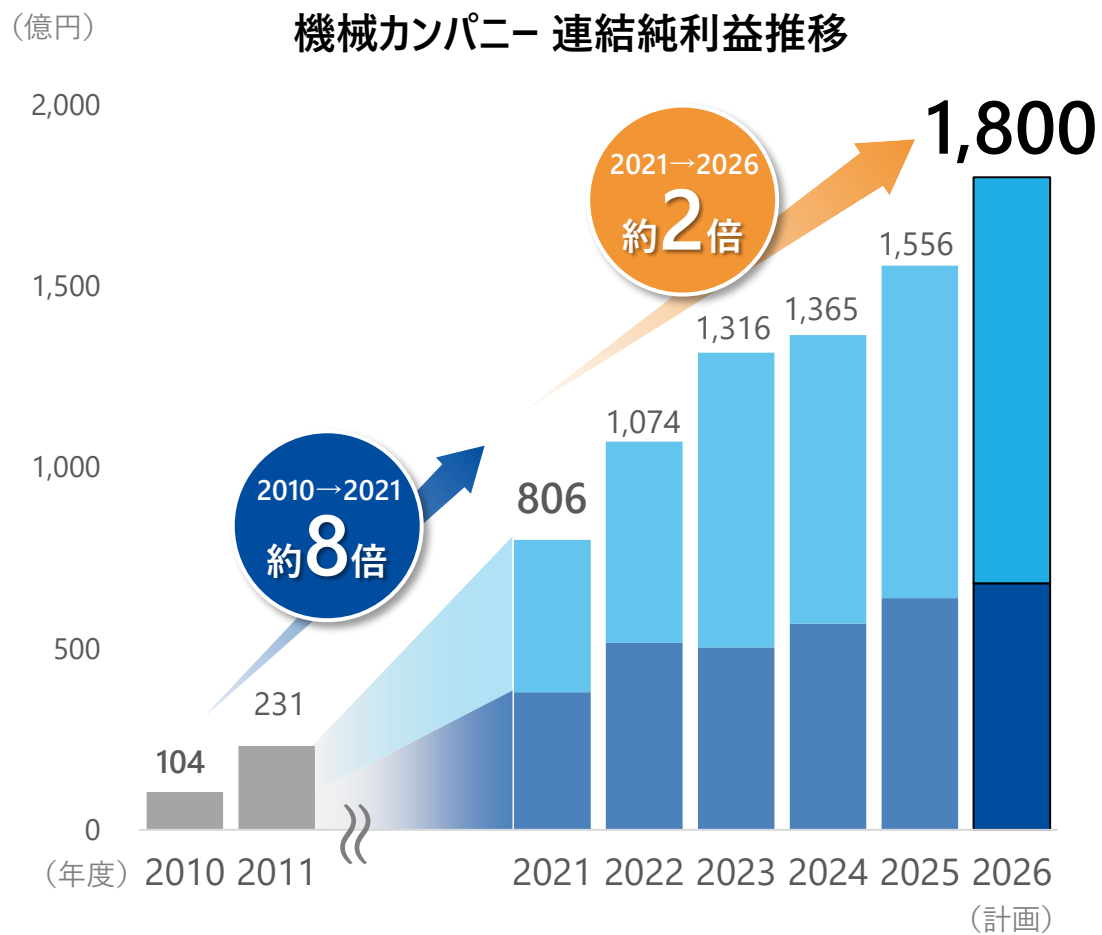
都梅 博之

代表取締役 副社長執行役員
機械カンパニープレジデント（2019年～）
（兼）COO補佐

- 1982年入社、主に海外プラント建設事業に携わり、ナイジェリア・タイ・中近東等で伊藤忠の海外事業拡大に貢献
- これまでに中近東・アフリカ・欧州の海外3ブロックの総支配人を歴任、世界各地で当社グループの地域代表として経営手腕を振るう

多様な対面業界と収益基盤

あらゆる分野でプラットフォーム・サプライチェーンを構築、安定成長を実現



連結純利益 2026年度計画内訳



※東京センチュリーの取込損益を含む

アンモニア統合型プロジェクト



プラント事業

自らプラントを運営し、燃料確保

- ゼロエミッション燃料として注目
- クリーンアンモニアを自社生産

バンカリング事業

運航船に燃料供給

- 世界の主要航路に機動展開
 - 周辺インフラビジネス機会の創出
- プラント・船舶両分野の知見を活用**

保有船事業

アンモニアを燃料に運航

- 強化される海運環境規制に適合

知見・総合力から生み出される “アンモニア燃料” サプライチェーン

アンモニア統合型プロジェクトの展望

各地で積み上げてきた地場企業との協業実績
グローバルなパートナーングを武器に、世界の海運航路の要衝に拠点を開発

